

05 「当たり前前（まえ）の現実（げんじつ）？」（作文（さくぶん）（中学生（ちゅうがくせい）））

（ナレーター）皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市（ふくおかし）が
送り（おく）する「こころのオルゴール」の時間（じかん）です。今日は私（わたし）、最上（もがみ）
もが（だい）が第43回（かいぜんこくちゅうがくせいじんけんさくぶん）全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会（ふくおかけんたいかい）で
入賞（にゅうしょう）した中学3年生（ちゅうがく）の作文（さくぶん）を一部省略（いちぶしょうりやく）して朗読（ろうどく）します。題名（だいめい）
は「当たり前（あ）前（まえ）の現実（げんじつ）？」です。

ある日（ひ）、テレビでこんなコマーシャルが目（め）に留（と）まりました。
赤（あか）ちゃんの泣（な）き声（こえ）とともに「はいはい今（いま）行くねー」とい
う言葉（ことば）が映（うつ）され、最後（さいご）は「聞こえてきたのは、男性（だんせい）の声（こえ）で
か？ 女性（じよせい）の声（こえ）ですか？ 無意識（むいしき）の偏見（へんけん）に気（き）づくことから、
はじめ（はじめ）ませんか」と締めくくられました。

私（わたし）は、無意識（むいしき）に女（おんな）の人（ひと）だと思（おも）ってしまい、先入観（せんいゅうかん）を持（も）って
世界（せかい）を見てしま（み）っているのだと、とても考（かん）えさせられました。

それから一年（いちねん）ほど経（た）ち、大好き（だいすき）だった祖父（そふ）が亡（な）くなりました。
た。お葬式（そうしき）の後（あと）、親族（しんぞく）で食（しょく）事を（じ）しました。私（わたし）たち兄（きょう）妹（まい）は、喪主（もしゅ）
である祖母（そぼ）が一番（いちばん）お仏壇（ぶつだん）に近（ちか）い上座（かみざ）に座（すわ）ると考（かん）えていまし
た。しかし、母（はは）や祖母（そぼ）、伯母（おば）たちが食（しょく）事（じ）やお酒（さけ）の用（よう）意（い）をして
いる間（あいだ）に、男（おとこ）の人（ひと）たちはどんどん上座（かみざ）へいき、結（け）局（きよく）、祖母（そぼ）は
一番（いちばん）お仏壇（ぶつだん）から遠（とお）い下座（しもざ）に座（すわ）っていました。姉（あね）と「なんで、
ばあちゃん（ばあちゃん）が下座（しもざ）にお（お）るん？」と話（はな）していると、親戚（しんせき）のおば

さん（さん）が「おばあちゃん（おばあちゃん）も男（おとこ）の人（ひと）がいつ（いつ）ぱい（ぱい）いる上座（かみざ）より、
居心地（いこち）が（が）いい（いい）でしょう？ それに、出（で）入（い）り口（ぐち）に近（ちか）い方（ほう）が（が）お

料理を運びやすいからね。」と教えてくれました。

25 私は福岡に帰ってきてからも、その食事のときの光景が頭から離れませんでした。

なぜ、女の人が料理やお酒を運ぶ前提なんだろう。

なぜ、喪主が下座にいるのに、誰も不思議に思わないんだろう。

30 あのコマースィアルを見たときには、「考えさせられるなあ」としか思わなかったのに、自分の問題になって、いかに何も考えずに生きてきたか気付かされました。

35 男性の育児休業を取りやすくなり女性を管理職へ起用したりするなど、社会で男女平等の取り組みは広がっています。けれど、「男は仕事、女は家事」という考えの人や、その現状を当たり前とのみこむ人がいることも事実です。そういう現実が当たり前にならないよう疑問を持ち続けたいと思うようになりました。このきっかけを忘れないようにしたいと思います。

40 (ナレーター) いかがでしたか。性別による役割分担に疑問を持った作者。当たり前という考えを見直すことが大切だと気付かされる作文でしたね。

45

(本文944字)